

## 「留学生のための環境にやさしい産業見学会」の実施報告



3月17日(月)に外国人留学生20名、一般参加2名の参加を得て当財団主催の「環境にやさしい産業見学会」を実施しました。今回は、北九州に本社のあるTOTO株式会社小倉工場と北九州次世代エネルギーパークを見学しました。

TOTO株式会社は衛生陶器では百年近い業歴を持ち、今や世界的な企業として世界各地で衛生陶器を製造販売していますが、その小倉工場では日本国内向けの衛生陶器を生産しています。工場内では、ハイテクを駆使して

合理化されている工程だけでなく陶器製造過程では手作業が必要になる部分もあることを実際に見学することができ、参加した留学生はその効率的できめの細かい衛生陶器製造過程に感心していました。

午後からは環境モデル都市を標榜する北九州市がリーディングプロジェクトとして推し進めている低炭素社会構築に向けたフロンティアゾーン「北九州次世代エネルギーパーク」を視察しました。ここでは、北九州市民が主体となって設立した太陽光発電所、響灘の海岸沿いに立ち並ぶ10基もの風力発電設備を見学、北九州市の低炭素社会実現に向けた積極的なプロジェクトに接し、留学生達は太陽光設備の耐久性や風力発電の出力など様々な質問を職員の方にぶつけていました。

TOTO小倉工場、北九州次世代エネルギーパークの見学を通して留学生たちは日本の工場における効率的な生産管理、次世代エネルギーへの積極的な取り組みなどの一端を理解する貴重な機会となったとの感想を述べていました。

以下の写真はその産業見学会の様子です。



TOTO小倉工場内で説明を受ける留学生



工場見学後の活発な質疑応答



北九州市民太陽光発電所内での集合写真



響灘の風力発電施設の説明を受ける留学生